

令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書(選定校記載用)

(校園コード 563506)

※校園コードを入力してください。

学校名 西高等学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 2,305,120 円

2 自校の現状・課題(※小・中学校においては、学力課題に限定)

来年度からの学科改編と募集定員削減、3年後の普通科系新校への統合といった二段構えの変革期をむかえ、本校教職員が抱える業務量は膨大なものになる。その中でも、在校生や新学科に入学してくる生徒たちには、これまでの西高校の勢いを弱めることなく、これまで以上に価値のある西高生活を過ごしてもらわなければ生徒への背信となる。同時に、新校への移行期であることから、高大7年間で学びを意識したキャリア教育の充実も重要な課題である。これらを踏まえて、大学の先生方を学校協議会委員に迎えて以来、培ってきた高大連携事業をさらに発展・充実させることが本校の至上の課題である。
また、小・中学校に比べて遅れがちなICT化も、同時に取り組むべき重要な研究課題と言える。来年度より、「教育情報科」を名のる本校にとっては、授業での活用方法について工夫が求められる。

3 年度目標(※小・中学校においては、学力向上の目標を記載すること)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】
①英語科生徒はもちろん、他科の生徒に対してもC-NETとの連携強化やICT機器の積極的導入によりコミュニケーション指導を充実させる。そのための施設・設備の充実と教材開発を行う。
④大学教育との連携をさらに強化するため、現在実施している様々な事業を継続・発展させるとともに、新たな企画を立案し実践する。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※決算報告時に記載

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

本校学校協議会委員を務めていただいている3大学の先生方を窓口として、高大連携の取組みをさらに充実・発展させる。新学科・新校でも教育のベースとなる英語と情報に観点をおき、英語教育でのICTの活用を促進する。昨年からのProgressテストの継続と、試行によって成果の見られたオンライン英会話によるアクティブラーニングを本格実施する。

5 年度目標に応じた事業効果を測る指標(期待する効果等)

各事業で生徒の満足度をアンケートで調査し、肯定的回答が80%を超えることを目標とする。特色ある教育活動の実践と広報活動によって、新学科での入学者選抜でも募集定員を超える志願者を集める。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※決算報告時に記載

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 年間スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	準備	各事業の実践							
効果検証	中間検証				最終検証				

取組

1

(校 園 コー ド 563506)
学 校 名 西 高 等 学 校

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 2 施策名 キャリア教育の充実】 甲南大学経営学部の研究室と連携し、流通経済科1年生を対象に大学見学・研修会を実施する。また、昨年度高い成果を上げた流通経済科と仏語選択者を対象とした大学教員・ゼミ生による特別授業を継続するとともに、英語科・流通経済科の生徒を対象に、マネジメントに関する英語講義を新たに導入し、より充実した高大連携を作り上げる。	委員会使用欄	達成
予算内訳 8-1 報奨金（講師料・教授） @7,100×2h×10回+交通費=150,000 8-1 報奨金（講師料・講師） @5,200×2h×5回+交通費=55,000 9-5 教職員出張旅費（引率旅費） @800×2（往復）×2人×4回=12,800 12-1 通信運搬費（生徒旅費） @800×2（往復）×30人×4回=192,000 14-2 船車賃借料（貸し切りバス） @140,000×2台=280,000 合計689,800円		
期待される効果 高校卒業時の就職希望者が少ない本校では、大学の4年間も含めた7年間でのキャリア教育が必要で、見学会・研修会では、ビジネス系大学の見学と大学教員による研修によって、自らの進路を積極的に考える姿勢を育てる。 また、経済・経営の知識だけでは通用しない今後のビジネス分野において、国際コミュニケーション能力の育成は英語科に限定されたテーマではない。そこで、昨年実施したホテルでの経営診断やフランス人観光客への観光案内などの特別授業に加えて、マネジメントについての英語講義を取り入れ、コミュニケーション能力を育てる。		

(2) 取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	日程調整		準備			見学・研修会			
	準備	甲南大学教員による特別講義と研究室との特別授業				考察・まとめ			
流通経済科対象の特別講義，英語科・流通経済科対象の英語での特別講義，研究室との特別授業 3事業を各5回実施予定									
効果検証	中間検証				最終検証				

(3) 取組内容に対する中間報告 ※中間報告時に記載

- スケジュールどおり実施できている。
 スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
 スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)
 [大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

(4) 取組内容に対する決算内訳

決算内訳
※決算報告時に記載

※取組内容はPCDAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。

取組
2

(校園コード 563506)
学校名 西高等学校

7. 取組内容・予算内訳

<p>(1)取組内容【施策番号 2 施策名 キャリア教育の充実】</p> <p>関西大学総合情報学部と連携し、情報科学科2年生を対象に大学見学・研修会を実施する。また、夏休みを利用した連携事業で、情報科学科の生徒を対象にスタートした製品開発企画が、大学や産業界からも好評で、昨年度は流通経済科の生徒も対象に加えた。今年度は、3学科すべての生徒を対象としたアプリケーション開発等でICTを活用した連携事業に発展・充実させる。</p>	<p>委員会使用欄</p>	<p>達成</p>
<p>予算内訳</p> <p>9-5 教職員出張旅費（引率旅費） @1,620×2（往復）× 2人×4回=25,920 11-1 消耗品（連携事業材料費） @5,000×30人=150,000 12-1 通信運搬費（生徒旅費） @1,620×2（往復）×30人×4回=388,800 14-2 船車賃借料（貸し切りバス） @140,000×2台=280,000</p> <p style="text-align: right;">合計844,720円</p>		
<p>期待される効果</p> <p>高校卒業時の就職希望者が少ない本校では、大学の4年間も含めた7年間でのキャリア教育が必要で、見学会・研修会では、情報系大学の見学と大学教員による研修によって、自らの進路を積極的に考える姿勢を育てる。また、新学科や新校でも育成をめざすSociety5.0に対応できる人材は、情報技術や国際コミュニケーション能力をバランスよく備える必要があり、3科の生徒によるチームでICT活用に取り組みれば相乗効果が大きいと期待でき、これを新学科・新校での取り組みに発展させれば、在校生の育成効果と中学生へのPR効果が同時に得られる。</p>		

(2) 取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	日程調整		準備			見学・研修会			
	準備	大学との実践 <small>（製作→0Cでの展示）</small>	校内での実践① <small>（改良→文化祭での展示）</small>		校内での実践② <small>（改良→校内発表）</small>		考察・まとめ		
効果検証				中間検証					最終検証

(3) 取組内容に対する中間報告 ※中間報告時に記載

- スケジュールどおり実施できている。
 - スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
 - スケジュールに大幅な遅れが出ている。（□他責・□自責）
- [大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法（年度末到達目標の修正など）

(4) 取組内容に対する決算内訳

<p>決算内訳</p> <p>※決算報告時に記載</p>

※取組内容はPCDAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。

取組
3

(校園コード 563506)
学校名 西高等学校

7. 取組内容・予算内訳

<p>(1) 取組内容【施策番号 2 施策名 キャリア教育の充実】</p> <p>関西外国語大学と連携し、英語科1年生を対象に大学見学・研修会を実施する。また、昨年度の取組みで生徒の成長が顕著に見られた御殿山キャンパス・グローバルタウンでの留学生との交流や大学教員による講義は継続して取組み、異文化理解を推進する。</p>	委員会使用欄	達成
	<p>予算内訳</p> <p>8-1 報奨金(准教授講師料) @6,200×2h×5回+交通費=65,000</p> <p>9-5 教職員出張旅費(引率旅費) @1,020×2(往復)×2人×2回=8,160</p> <p>12-1 通信運搬費(生徒旅費) @1,020×2(往復)×30人×2回=122,400</p> <p>14-2 船車賃借料(貸し切りバス) @140,000×2台=280,000</p> <p style="text-align: right;">合計475,560円</p>	
<p>期待される効果</p> <p>高校卒業時にほとんどの生徒が進学を希望する英語科では、大学を含む7年間でのキャリア教育が必要で、見学会・研修会では、外国語大学の見学と大学教員による研修によって、自らの進路を積極的に考える姿勢を育てる。また、英語科の生徒は、国際コミュニケーション能力が将来の職業選択時に強みとなるため、英語圏に限らない様々な国の多様な文化を知ることが将来のキャリアにもつながる。そのために、留学生が集うグローバルタウンでの交流は重要な取組みで、日本に居ながら異文化理解を一気に深める機会となる。</p>		

(2) 取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	日程調整		準備			見学・研修会			
	準備	関西外大教員による特別講義と御殿山キャンパスでの交流				考察・まとめ			
英語科対象の特別講義を5回、御殿山キャンパスでの交流事業を2回実施予定									
効果検証				中間検証				最終検証	

(3) 取組内容に対する中間報告 ※中間報告時に記載

- スケジュールどおり実施できている。
 - スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
 - スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)
- [大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

(4) 取組内容に対する決算内訳

決算内訳
※決算報告時に記載

※取組内容はPCDAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。

取組

4

(校 園 コー ド 563506)
学 校 名 西 高 等 学 校

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 6 施策名 ICTを活用した教育の推進】 昨年度、英語科で導入したProgressは、年間3回の能力判定がコミュニケーション能力の成長につながった。今年度は全学年で実施する。また、昨年度試行したオンライン英会話も、生徒の熱心な取り組み姿勢と授業の活性化が確認できたため、2年生で正式に実施する。いずれも個人費用は徴収金に計上したが、実施実現のために必要な機材を整備する。	委員会使用欄	達成
	予算内訳 11-1 消耗品 (Progress実施用・ヘッドセット不足分) @3,564×40=142,560 11-1 消耗品 (オンライン英会話用・ウェブカメラ) @3,812×40=152,480 合計295,040円	
期待される効果 来年度の大学入試改革にも見られるように、外国語に4技能のバランスが求められる時代にあって、Progressは生徒一人一人の各技能を正確に判定でき、改善点を見出すことによってコミュニケーション能力の成長に大きく役立つ。また、英語科2年生で導入するオンライン英会話についても、昨年の試行では交代制で一人当たりの活用時間が限られたが、機材を整備することによってクラス単位で一斉実施できるため、より効果的にコミュニケーション能力を伸ばすことにつながる。		

(2) 取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
取組み	準備	整備	授業での活用				授業での活用			
	progressは年3回の診断結果を学習指導にフィードバックする。オンライン英会話は効果的なタイミングで適宜実施する。									
効果検証					中間検証					最終検証

(3) 取組内容に対する中間報告 ※中間報告時に記載

- スケジュールどおり実施できている。
 スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
 スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)
 [大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

(4) 取組内容に対する決算内訳

決算内訳

※決算報告時に記載

※取組内容はPCDAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。